

# 日本甲虫学会 Coleopterological Society of Japan



HP: <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter 日本語アカウント: <https://twitter.com/kochugakkai>

英語アカウント: [https://twitter.com/Coleopt\\_Soc\\_Jpn](https://twitter.com/Coleopt_Soc_Jpn)

## 会長挨拶「コロナ禍に思う」

日本甲虫学会 会長 大原昌宏

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/introduction/introduction.html>

コロナ禍の中、みなさま如何お過ごしでしょうか。会員のみなさまにも飲食業や観光業、また医療に携わっている方もいらっしゃるかと思います。厳しい状況の中、多くの困難が今後も続くことかと予想されますが、なんとか乗り切って早く平常に戻ることを願っております。会員の皆様にも、COVID-19 に気をつけて、ご自愛いただければと存じます。

このような状況の中、会長挨拶を執筆することはなかなか難しいことでした。日本甲虫学会として社会貢献ができることが何かあるか、どのように振る舞えばよいのか。いろいろと考えてみましたが、周りの状況や学会のニュースとして流れるものはネガティブなものばかりです。

まず、今後予定されている大会、例会は COVID-19 蔓延を避けるため、中止になる可能性が高くなってきております。まだ正式な決定をしておりますが、大会については6月初旬には決定をさせていただきます。またゴールデンウィーク前にアナウンスとして流させていただきました、「離島採集自粛要請」についても、会員の方々には是非とも要請を配慮した行動をしていただきたく、ご協力をお願い申し上げます。今後、夏場の採集シーズンに向けて、どのような外出自粛などの制限が出るかわかりませんが、特に島嶼への医療体制の脆弱な地域への立ち入りは事態の収束を見るまでは厳に慎むようお願い致します。

アイザック・ニュートンが万有引力を発見したのは、1665年から1666年にロンドンで大流行したペストのためケンブリッジ大学が閉鎖となり、故郷の自宅で思索思考にふけていた結果であることは、よく知られています（「創造的休暇」と言われているそうです）。甲虫学学徒である会員の皆さんにとっても、これまでに採りためた標本を改めて整理・検討する、また、中途になっていた論文を出版までにまとめるなど、自宅や研究室で甲虫学に没頭できる良い機会かもしれません。

コロナ禍の結果として、「Elytra」「さやばね」が分厚くなった、というのが、日本甲虫学会がハッピーになる現象かと思えます。皆様の自粛下でのご活躍を期待しております。

<2020年5月8日掲載>

## 2020 年度調査観察例会@京都府丹後半島は中止

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/saisyu/tango2020.html>

できれば来年度の同時期に、同じ計画内容にて開催したいと考えていますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

## さやばねニューシリーズ 37号(3月25日発行)

[http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/sayabane/SayabaneNS\(37\).html](http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/sayabane/SayabaneNS(37).html)



甲虫と人類の文化 —テントウムシ科の文化昆虫学概説／フタスジヒメテントウを島後で採集／水溜りの水面で得られた甲虫—水の面の何かが甲虫を引き寄せた一例—／渡嘉敷島から発見されたリュウキュウクシコメツキ／富士山から発見された興味あるコメツキムシ 2 種／甲虫コレクションガイド 18 石川県ふれあい昆虫館の甲虫コレクション／自然環境下におけるクロズマメゲンゴロウの卵および上陸の記録／北限を大きく更新するコヤマトヒゲフトアリヅカムシ (ハネカクシ科アリヅカムシ亜科)の北海道利尻島からの記録／伊良部島におけるババツノヒゲアリヅカムシの記録／現代文化天道虫学／甲虫の科和名と連濁／シモジマルキマワリの伊良部島からの記録／小笠原諸島父島から発見されたヨナグニチビコメツキ／日本産ガムシ科の 1 新種と和名新称／与那国島で採集された興味あるコメツキムシ

2 種について／宮古諸島多良間島からのアリヅカムシ (ハネカクシ科アリヅカムシ亜科)の初記録／岐阜県におけるコガタガムシの記録および繁殖について／日本初記録のゲンゴロウ *Platambus ussuriensis* (Nilsson)／シコクモリヒラタゴミムシの群馬県からの記録／五島列島福江島でキヒゲアリヅカムシ (ハネカクシ科アリヅカムシ亜科)を採集／日本から記録された *Enochrus affinis* への和名の提唱 (鞘翅目・ガムシ科・ヒラタガムシ亜科)／父島におけるエノキコメツキダマシの記録／沖の島 (高知県)におけるコガネムシ上科の分布記録／奄美群島におけるケシキスイ科甲虫の追加記録 (I)／マスダクロホシタマムシの後食植物について／サワダマメゲンゴロウの生態的知見／宮崎県からのオオミイデラゴミムシの採集記録／データベース紹介／日本甲虫学会第 10 回大会報告／調査観察例会のお知らせ／目次

## 授業料減免・研究期間や計画・任期延長・卒業学位認定への柔軟な対応のお願い

生物科学学会連合より緊急声明

[https://seikaren.org/wp/wp-content/uploads/2020/05/statement\\_20200508.pdf](https://seikaren.org/wp/wp-content/uploads/2020/05/statement_20200508.pdf)

## 「文部科学省(MEXT)国費留学生制度のあり方」に関する日本分類学会連合の意見を掲載

[http://www.ujssb.org/comment/20200505\\_comment\\_.pdf](http://www.ujssb.org/comment/20200505_comment_.pdf)

### 日本甲虫学会 ニュースレター 第 28 号

2020 年 5 月 10 日発行 ※本ニュースレターは主に HP の更新履歴に基づき、プレーンテキストにて不定期でメール配信しています。以後の配信停止ご希望の方はご連絡ください。過去の更新履歴も、PDF でご覧いただけます。

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

(web 担当: 初宿・山本 [webmaster@kochugakkai.sakura.ne.jp](mailto:webmaster@kochugakkai.sakura.ne.jp))